

## 東京湾再生官民連携フォーラム設立のころざし

かつての東京湾は、「食べる」「風景に和み憩う」「海・海辺で遊ぶ」といった様々な恵みを提供する豊饒な海でした。江戸時代には、その新鮮で豊かな幸により、握り鮓をはじめ多くの食文化が生み出されました。しかし、東京湾流域に多くの人と産業が集中し、東京湾が背後の巨大都市圏を支える重要な要衝として開発・整備されるに伴い、東京湾の環境は大きく変わりました。生物の生息環境が劣化・消失したことで、生き物が少なくなり、魅力や豊かさを感じられない海辺から人々が遠ざかり、関心も薄れてきました。

もう一度東京湾を身近に取り戻し、豊かな環境を再生させるためには、東京湾に関わる企業、研究者、水産関係者、レジャー関係者、NPO、市民、行政等の多様な主体がその英知を出し合い、共に連携・協働し、楽しみながら環境再生の取組をする、新しい文化を育てていくことが必要です。

この宣言は、東京湾再生を進めていこうとする私たち自らの決意を表し、私たちの活動に共感・共鳴して共に協働する仲間を募るものです。私たちは、東京湾再生に係る現状や課題を理解・共有し、共に解決策を模索し、新しい試みや努力を応援し、東京湾の魅力を発掘・創出・発信し、知恵や工夫を出し合い、汗をかきながら東京湾再生の輪を広げてゆきます。多くの人の手によって、豊かで美しい東京湾が復活し、人々が東京湾の豊かな恵みに感謝し、楽しみながらいきいきと暮らす日が来ることを目指します。そして、そうした活動から育成・醸成された多様な関係者の総意をとりまとめ、「東京湾再生推進会議」へ提案する役割を担っていきます。

私たちは、このような海と人々とのつながりの歴史と再生の活動を、東京湾を取り巻く日本の文化として確立していきます。そうした文化は、必ずや世界に誇れる新しい海辺の都市のあり方を示すものとなるでしょう。

2013年10月10日 東京湾再生官民連携フォーラム企画運営委員会

// 11月23日 東京湾再生官民連携フォーラム